株式会社アテクト
https://www.atect.co.jp/

2026 年 11 月 6 日

アテクト、QST 開発の細胞培養基材技術の事業化に向け「CellTune Gel™」評価用サンプルの提供を開始

株式会社アテクト（本社：滋賀県東近江市、代表取締役社長：大西誠）は、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（理事長：小安重夫、以下「QST」）と共同開発を進めているタンパク質ゲル培養基材「CellTune Gel™（セルチューンゲル）」について、2026 年 11 月 6 日より評価用サンプルの提供を開始いたします。

「CellTune Gel™」は、QST 高崎量子技術基盤研究所先端機能材料研究部の大山智子プロジェクトリーダーらが開発した独自の放射線加工技術を用いた細胞培養基材です。細胞が接する環境の成分・硬さ・形状を自在に設計できることを特徴としており、細胞（Cell）に合わせて培養環境を調律（Tune）し、細胞の機能や状態を適切に引き出すことを目指して CellTune Gel™と名付けました。

体内の細胞は、タンパク質などで構成される柔らかな環境に囲まれ、その成分や硬さ、形状などの影響を受けながら機能を発揮しています。一方、一般的な細胞培養に用いられるプラスチック製の培養容器は、細胞が接する面が硬く平らであり、生体内環境を十分に再現することが容易ではありません。CellTune Gel™は、細胞種や研究目的に応じて培養環境を設計できることから、より生体に近い細胞・組織モデルの構築や細胞機能評価への活用が期待されています。

アテクトは長年にわたり、微生物検査分野向けシャーレをはじめとするライフサイエンス関連製品の製造・品質管理・供給を行ってまいりました。今回、QST より培養基材の設計・製造技術の移転を受け、安定した製造体制および品質管理体制の構築に取り組むとともに、研究現場から得られる評価や要望を製品開発へ反映する仕組みづくりを推進してまいります。

本取り組みは、科学技術振興機構（JST）の研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）産学共同ステージⅡ（本格フェーズ）の支援を受けて実施しているもので、アテクトは QST からの技術移転を通じて、培養基材の実用化に向けた製造技術および品質管理体制の確立を進めています。

アテクトは、本日 2026 年 11 月 6 日に CellTune Gel™専用ウェブサイトを公開いたしました。同ウェブサイトでは、技術コンセプト、特長、評価用サンプルなどの情報を掲載するとともに、サンプルに関する相談・申込受付を開始いたします。今後は技術資料や評価事例などのコンテンツを順次拡充し、細胞培養環境に関する情報発信の場として運営してまいります。

さらに、日本動物実験代替法学会第 39 回大会（開催：2026 年 11 月 13 日から 15 日）において CellTune Gel™を紹介し、研究者の皆様との意見交換を通じて製品開発を進めてまいります。

アテクトは、今後もQSTとの連携のもと、CellTune Gel™の実用化と普及を推進し、創薬研究、化粧品開発、再生医療研究および動物実験代替法研究など、ライフサイエンス分野の発展に貢献してまいります。

CellTune Gel™ウェブサイト

URL：https://www.atect.co.jp/celltune-gel/

日本動物実験代替法学会第 39 回大会
会期：2026 年 11 月 13 日（金）～15 日（日）
会場：アクリエひめじ
内容：CellTune Gel™のコンセプト紹介、評価用サンプルの相談・申込受付

